

農政局だより@ひょうご

2023.10
H-SATT

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎

TEL:078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp



第44回兵庫県民農林漁業祭に出展しました

近畿農政局兵庫県拠点は、令和5年10月14、15日に県立明石公園「千畳芝」で開催された第44回兵庫県民農林漁業祭に出展しました。

会場では、パネルの展示及びパンフレット等の配布により、みどりの食料システム戦略の理解醸成、有機農産物の認知度の向上を図りました。

また、両日でみどりの食料システム戦略と有機農産物についてのアンケートを158名の方に協力してもらいました。

その結果、有機農産物については、9割を超える人から「関心がある」、「購入したい」や「取扱量が増えたほうがいい」という御意見をいただきました。



出展（物販・展示）の様子



めりえコーナーの様子



おはしde豆つかみゲームの様子

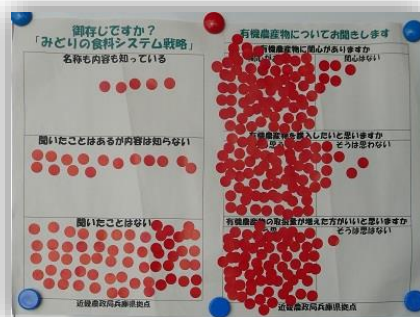
14日は、養父市、淡路市の協力をいただき、有機農産物や環境に配慮して生産された農産物（米、ピーマン、なす、にんじん等）の販売等を行い、多くの来場者に購入していただき、有機農産物等の良さを知ってもらえました。

15日は、「めりえ」や「おはしde豆つかみ」を実施しました。

「めりえ」では、多くのお子さんが楽しそうに自分の好きな色を塗って喜ばれていました。

また、1分間にお箸で小豆をいくつ運べるかという「おはしde豆つかみ」では、子供から大人までが年齢を忘れて、ゲームを楽しんでいました。

アンケート結果



○みどりの食料システム戦略について

問 御存じですか？みどりの食料システム戦略

- | | |
|-------------------|-----|
| ・名称も内容も知っている | 11% |
| ・聞いたことはあるが内容は知らない | 22% |
| ・聞いたことはない | 67% |

○有機農産物について

問 有機農産物に関心がありますか

- | | |
|--------|-----|
| ・関心がある | 92% |
| ・関心はない | 8% |

問 有機農産物を購入したいと思いますか

- | | |
|----------|-----|
| ・そう思う | 94% |
| ・そうは思わない | 6% |

問 有機農産物の取扱量が増えたほうがいいと思いますか

- | | |
|----------|-----|
| ・そう思う | 98% |
| ・そうは思わない | 2% |

このような結果となりました。

「食かけるプライズ2023」表彰事例決定！

～訪日外国人が楽しめる日本各地の魅力的な食体験を表彰～

農林水産省は、2018年から「食かけるプロジェクト」の一環として、日本各地の食・食文化を深く知ることができる食体験を表彰する「食かけるプライズ」を実施しています。本年度も5月から7月にかけて「食かけるプライズ2023」の募集を行った結果、108件の応募があり、審査の結果、10件を表彰することに決定しました。

なお、**ネクストブレイク賞**（応募時点で商品化されていない体験事例を対象とした賞）に**株式会社やなわ（丹波市）**の「**丹波おはぎを盛り付け日本の食文化を味わう**」が表彰されます。

概要

「食かけるプロジェクト」は、訪日外国人に食と歴史や自然等、異分野と掛け合わせた多様な食文化を提供し日本食に親しんでもらい、帰国後も本国にしながら日本食を体験することにより、日本産食材等の輸出拡大につなげていく取組です。



丹波おはぎを盛り付け日本の食文化を味わう

株式会社やなわ（体験場所：兵庫県）

丹波産の栗、黒豆、大納言小豆、もち米等を使用したおはぎ作りを体験。和の心や歴史を学びながら、丹波焼きの器におはぎと季節のツマを盛り付け、焙烙急須で茶を焙煎して作るほうじ茶づくりも体験。焙じたての香り豊かなほうじ茶とおはぎを一緒に楽しむことができる。



詳しくは <https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/230927.html>



令和5年度全国ジビエフェア参加店舗募集中

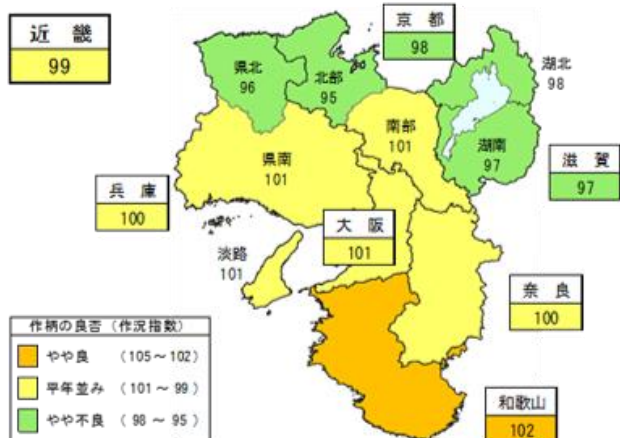
農林水産省では、ジビエの全国的な認知向上、普及、需要拡大に向けた取組の一環として、ジビエへの関心を高め、飲食店等でのジビエの利用を促進するとともに、ジビエメニューを提供する飲食店やジビエ商品を販売する店舗等の情報を取りまとめてPRし、消費を促進する、**全国ジビエフェア**を開催します。開催期間は、令和5年11月1日～令和6年2月29日となっています。本フェアの開催に向けて、参加店舗を募集（フェア終了まで随時受付）しています。

詳しくは

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/230828.html>



令和5年産水稻の予想収穫量（9月25日現在）



農園CuRA！（チュラ）代表 真保若葉氏に講演をしていただきました

令和5年10月11日（水）に兵庫県拠点において、新潟県新潟市の農園CuRA！代表 真保若葉氏に「いちからすべてみんなと一緒に（農福連携で目指す6次化）」と題した講演をしていただきました。

真保氏から農福連携に取り組んだきっかけ、最初の課題やどのように克服したか、農福連携によるメリットや様々な可能性、販路拡大の取組等の話をしていただき、その後、意見交換を行いました。

意見交換では、「障がい者の労働は不安定だと思うが、事業計画に遅れが生じた場合の対処方法はどのようにしているのか。」「順調な販路開拓に対して、生産量が足りないのではないか。」といった質問がありました。



【講演の様子】

農園CuRA！代表真保若葉氏は、「一から全て」、「一流のものを一流のお店に使ってもらう」ことをコンセプトに、畑74aとパイプハウス1棟でハーブ類、在来野菜及び果物等を農薬・肥料・除草剤を使用しないで栽培している。ハーブ等の加工・販売にも取り組んでいる。

また、2017年から農福連携に取り組んでおり、生産から加工までの一連の作業を障がい者と一緒にっており、ノウフク・アワード2021ではフレッシュ賞を受賞。



真保若葉氏



2023年漁業センサスの実施について

海面漁業調査及び内水面漁業調査は令和5年11月1日現在（流通加工調査は令和6年1月1日現在）で2023年漁業センサスを実施いたします。調査へのご協力をお願いいたします。

概要

漁業センサスとは、我が国漁業の生産構造、就業構造並びに漁村及び水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を明らかにするとともに、我が国の水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的に、5年ごとに水産業を営んでいるすべての世帯や法人を対象に行う全国一斉の調査です。

抽出（選定）方法

- 1.海面漁業調査・・・海面漁業に係る全ての漁業経営体及び漁業協同組合。
- 2.内水面漁業調査・・・内水面漁業に係る全ての漁業経営体及び内水面組合。
- 3.流通加工調査・・・全ての魚市場並びに水産加工業及び冷凍・冷蔵施設を営む事業所。

詳しくは <https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/fc/index.html>



環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

加西市東剣坂町 北本ファーム 北本 奇世司さん

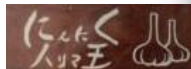
取組の紹介 一曾祖父の代から受け継がれたハリマ王にんにくの伝統を守ります一

先祖代々農家で、曾祖父の代から在来にんにくの栽培を始め、父の代でブランド化された「ハリマ王にんにく」を独自のこだわりの栽培方法で生産し自家採種をしています。

病気対策として、牡蠣殻酢酸液・蟹殻酢酸液と納豆菌を葉面散布し、施肥量は毎年土壌分析結果に基づいて決め、完熟の牛糞堆肥と複数年寝かせたばかし肥料を使用するほか、雑草予防のために馬糞堆肥を有機マルチとして使用しています。

手間暇をかけて生産したにんにくを販売しているほか、黒にんにくやにんにく味噌などの加工品の開発販売にも力を入れています。

「北本ファーム」詳しくは <https://www.kitamotofarm.com/>



簡単な経営概況

にんにく	1.5ha
水稻	1.0ha
ぶどう	0.3ha
大豆	2.0ha
(法華白大豆・丹波黒大豆)	



令和5年産水田における作付状況について公表しました

農林水産省は、令和5年産の主食用米及び戦略作物等の作付状況(令和5年9月15日時点)を10月13日に公表しました。

全国の主食用米の作付面積は、前年実績(125.1万ha)から0.9万ha減少(▲0.7%)し、124.2万haとなりました。

また、戦略作物等の作付面積は、新市場開拓用米(輸出用米等)、WCS用稲(稲発酵粗飼料用稲)が前年より増加しました。

一方、兵庫県における主食用米の作付面積は、前年実績(32,800ha)から300ha減少(▲0.9%)し、32,500haとなり、戦略作物等については、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、麦、飼料作物が前年より増加しました。

詳細は、農林水産省や近畿農政局のホームページをご覧ください。

＜都道府県別作付状況＞

農林水産省HP：https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/231013.html

＜近畿地域農業再生協議会別作付状況＞

近畿農政局HP：<https://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/231013.html>



令和5年産の水田における作付状況

(ha)

	主食用米			戦略作物等											備蓄米
	①	(参考)		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	
		前年産 (4年産) ②	増減 ①－②		飼料用米	WCS 稲発酵 粗飼料 用稲	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用 米等)	その他						
全国	124.2万	125.1万	▲0.9万	48,797	133,925	53,055	7,587	9,091	71	103,449	87,398	53,224	24,708	643	35,359
兵庫県	32,500	32,800	▲300	674	819	972	48	185	6	1,931	1,655	783	117	12	－

令和5年度豊かなむらづくり全国表彰事業

(近畿ブロック) 受賞団体決定

農林水産大臣賞 飯見夢むら棚田の会(宍粟市)

農林水産省では、農山漁村における「むらづくり」の優良事例を表彰し、その業績を広く紹介することを通じて、農山漁村におけるむらづくりの全国的な展開に繋げていくために、毎年度、農林水産祭の一部門として「豊かなむらづくり全国表彰事業」を実施しています。

令和5年度、兵庫県からは、飯見夢むら棚田の会(宍粟市)が農林水産大臣賞を受賞されましたのでお知らせします。また、日本政策金融公庫農林水産事業本部近畿地区統轄賞を併せて受賞されました。

詳しくは <https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/231011.html>



兵庫の秋の風景

コスモス畑(加古川市)



例年、10月上旬から下旬が見頃の時期です。

編集後記



徐々に秋も深まり、お米に限らず様々な農作物の収穫が着々と進んでいます。

先日、丹波黒豆の枝豆のほ場を拝見しました。さすが天下に名の轟く「丹波黒」。大きくきれいな鞘に見とれてしまいました。黒豆は様々な土地で作られています。丹波地域の特産ということもあり、品種だけでなくその土地柄や気候条件などとマッチして見事な豆を実らせるのではないかとと思うところです。もちろん、購入させていただき美味しくいただきましたよ。(^^)/(S・T)

地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

2023.10 TEL: 078-331-5924 Email: hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp